1. 起動直後の画面



2-1. 都市選択画面

神奈川県を選ぶと、神奈川県内の市町村リストが表示



2-2. 都市選択画面

神奈川県の市町村リストから横浜市の「選択」ボタンを クリックすると、右側の選択中Boxに横浜市が追加される。



2-3. 都市選択画面

複数都市間の比較評価を実施する場合、2-2の操作を繰り返して 「グラフ表示」のボタンを押す(例:横浜市、川崎市、厚木市)。



3-1.評価結果の画面(レーダーチャート表示)

選択した各都市について、デフォルトの11項目を偏差値評価したレーダーチャートが表示。 左の図をクリックすることで、都市の全国ランキングが表示。



3-2. 評価結果画面 (ランキング表示)

全国における各項目のランキングからその都市の特徴を把握することが可能⇒厚木市:財政が良く、防犯が悪い。 左下の図をクリックすることで、項目の追加・削除が可能



3-3. 評価結果画面(項目の追加・削除)

追加・削除したい項目を検索し、「検索結果」から追加した項目をクリック、もしくは削除したい項目を「選択中項目」から クリック

表示したい図をクリックすることで、項目を追加・削除した結果が表示



3-4. 評価結果画面(類型内で指標化)

全国ランキングを表示させ、「全国」から「類型内」に変更することで、同レベルの人口での比較が可能 ⇒厚木市:歳入(課税所得)が大きい

右下の図をクリックすることで、散布図による結果を表示



3-5. 評価結果画面(散布図表示)

散布図の結果から、選択した都市の全国におけるポジショニングを可能することが可能 ⇒厚木市:少子高齢化の傾向は、横浜市・川崎市と同程度 左の図をクリックすることで、散布図のX軸・Y軸の項目変更が可能



3-6. 評価結果画面(散布図の軸の設定)

散布図のX軸・Y軸にしたい項目を検索し、「検索結果」からX軸・Y軸の項目をクリック 左の図をクリックすることで、X軸・Y軸が変更された散布図が表示



3-7. 評価結果画面(散布図のラベル)

X軸・Y軸を変更した散布図が表示され、選択した都市の特徴と類似した都市から課題に向けた施策を提案する。 ⇒厚木市:東京三鷹市ように、同じ財政力で犯罪数の少ない都市を目指す。

